

戸村 ゆうじ

58歳

安心して豊かな
中井が加速します

戸村ゆうじ
まちづくり
3つの約束

Mission(果たすべき使命)

ひとだすけはまちづくり、暮らす人の幸せが一番

「近き者説(よろこび、遠き者来たる)」。第七次中井町総合計画では、町民の幸せを見える化し、向こう10年の方向性を定めました。ひとだすけとまちづくりをつなぎ、そこに地域づくりを直結し、あらゆる政策の根本に置き、助け合いの愛の町をめざします

Vision(実現したい未来)

なかいの真価を引き出し、次世代につなぎます

中井ならではの暮らしを維持していくため、農業振興、環境保全、減災対策、産業振興、文化政策等を総合的に取り組むことで、里都まちの真価を引き出し、育みます。お一人おひとりの生きがいと、人と人とのつながりを大切に、持続可能なまちづくりを推進します

Value(約束する価値や強み)

公僕(パブリック・サーバント)を貫く

「かかわる、わかる、かわる」によって、町民の皆さまとともに歩み続けます。しがらみのない、町民の皆さまに仕える公僕として、透明性、公平性を買きます。公務の質を高め、「迅速、正確、親身」でお応えする町役場を確立します

人口増加策・公共交通

暮らしたくなる、暮らせる住宅・交通の総合的推進

- ❖ 住宅・宅地供給が少なく「住みたくとも住めない」状況の解消（市街化未利用地の青写真実現・空き家利活用のさらなる推進等）
- ❖ それらを加速する公民連携移住定住プラットフォームの創設
- ❖ 企業社宅支援事業補助金等により職住近接の推進
- ❖ 役場周辺公共交通結節点整備
- ❖ エリア型、帰宅支援型ライドシェアの取り組み
- ❖ オンデマンドバス拡充を基軸とした町内移動の利便性向上

女性・健康

女性を支え、女性に選ばれる「育みの里」と健康増進

- ❖ 尿によるがん検査支援や人間ドック補助金の拡充
- ❖ 自立支援型賃貸（アフォダブル）住宅等の制度創設
- ❖ ネウボラの体制拡充、子育て支援センターや学童を通じ、産前産後から頼れる子育て環境の拡充
- ❖ 町の支援や教育、近隣の医療等社会資源を女性の視点でまとめた「育みの里ガイド」を作成



高齢者支援

お一人おひとりの安心を確実にする「ケアの街」

- ❖ 高齢者向け相談体制の強化を通じ、ケアの街として健康・介護・終活、交通などを網羅した「暮らしの安心道しるべ」作成
- ❖ 高齢者でも安心してごみ出しが出来る仕組みを整えます
- ❖ 家裁・社協等と連携した成年後見制度サポート
- ❖ 周辺医療機関・介護事業所等との連携強化
- ❖ 健康維持ややりがいのために、地域通貨アプリと連携した健康応援ポイント

子ども・若者・教育

中井っ子の育ちと学び、教育環境を子どもも大人も一緒に考え、教育立町をめざします

- ❖ すべての町内在住高校生・学生への無返還奨学金
- ❖ 定住条件付き奨学金制度や奨学金返還支援の創設
- ❖ こども園での有機給食で身体を育み、食育推進
- ❖ 子どもや若者の声を聞き、学校や施策に反映させながら、町子どもの権利条例制定につなげます
- ❖ 「なかい教育ビジョン」に基づき、学校のあり方検討に入っています。学校施設の修繕・改良は継続し、学びの環境を整備します
- ❖ コミュニティスクールや部活動の地域展開を含め、幼児期から若者までの体験学習を体系化



障がいや言葉の壁を越えて

障がい児・者サービスの強化、外国籍住民支援を厚く

- ❖ 児童発達支援、放課後デイ等の障がい児サービスの町内展開を図ります
- ❖ 神奈川県立福祉機構、中井やまゆり園との連携による障がい児・者サービスの拡充
- ❖ 就労支援等、多様化を見据えた外国籍住民への相談体制の強化
- ❖ 外国につながるの児童・生徒への支援体制の充実

防災・自治会・町民活動

自治会毎の特性に合わせた伴走支援と防災・防犯・地域課題解決支援

- ❖ Wi-Fi設置やサロン活動支援強化などで、自治会館を多世代型つどいの場に。中村下会館跡は地域の声から「小さな拠点」に
- ❖ 自治会役員なり手不足に対応し、町からの依頼事務等のあり方見直し
- ❖ 在宅避難、ペット同伴、個別避難計画も含む避難体制の見える化
- ❖ TKB&B（トイレ・キッチン・ベッド&バス＝お風呂）の避難所の充実
- ❖ 子ども学校防災支援の拡充、避難所運営等に係る地域防災人材育成
- ❖ 主要幹線道路、地域に防犯カメラを増強し、安心安全なまちへ
- ❖ 災害対策本部や受援体制、地理情報システム（GIS）などデジタル活用（DX）による災害・防災・防犯等の情報共有など災害対応の総合的強化
- ❖ 幸福度（ウェルビーイング）指標と連携し、町民活動や地域経済を活性化する地域通貨アプリ導入

着実な歩みから

戸村ゆうじ



公共施設・公共インフラ



町内合意を踏まえた縮充の公共施設再編、安心安全なインフラ整備を目指します

- ❖ インター周辺の新公園整備を受け、周辺公園の再編及び葛川に対し町ができる取り組みを積極化
- ❖ 主要幹線道路の舗装など道路改良を加速化
- ❖ 生涯学習施設は、立ち止まり、検討委員会により、検討していただいています。答申を受け、方向性は町内合意を図ります
- ❖ 学校のあり方検討を受け、学校施設の最適化の町内合意を図ります
- ❖ 学校施設の最適化と連動し、公共施設等総合管理計画改定により、長寿命化と縮充による公共施設の再編に取り組みます
- ❖ 技術職等の補完、上下水道を含む公共インフラの適正管理や更新を図ります

行財政運営・DX



小さな自治体だからこそできる熟議型民主主義、公務の質を高め、役場の「仕事革命」

- ❖ 町民の皆さまとの認識共有と合意形成に向け、小さな自治体だからこそできる、対話機会の再編、デジタル活用(DX)等での情報共有チャンネルを拡充
- ❖ 「働き方改革」から、接遇改善やDX推進で、全庁的な「仕事革命」により公務の質を高め、明るく温かい町役場に。「中井で働く」インターンシップ等の拡充
- ❖ 町内外の人のつながりを生かした町長自らのPR活動を引き続き行い、中井の真価を形に。さらに培った県や周辺自治体とのかかわりで、中井の存在感を示し、広域化や国県等の支援を最大限に
- ❖ インフラ維持更新と、社会保障の増大を踏まえ、選択と集中による第七次中井町総合計画の推進



確かな飛躍へ！

政策ユニバース 2

議員3期11年で培われた「対話と応答」、町長1期で築かれた「実績と土台」。これらを糧に、これからも町の課題や皆さまの願いを全方位的に解決・実現してまいります

農業振興

地産地消から治山治水も視野に、食と農と、その担い手を守ります

- ❖ 地域水源林整備や竹害から竹財への取り組み、広域的視点をもった有害鳥獣対策を、道路保全や減災対策と一体的に進め、里山の治山治水につなぎます
- ❖ インター周辺への農業法人誘致と多様な家族経営体支援をきめ細やかにを行い、持続可能な担い手維持につなぎます
- ❖ 米作環境の維持を図るとともに、生薬栽培など地域資源を生む、遊休農地対策を推進



産業振興・企業誘致



成長と連携、仕事と暮らしをつなぐ、産業施策を展開

- ❖ 町内事業者との連絡会設置により①企業ニーズに密着した産業振興②企業間の連携を後押し③人材や住まいのマッチングにつなぎます
- ❖ インター周辺における企業誘致を継続
- ❖ メガソーラー後の土地利用に向けた要望活動を継続、誘致を見据えた五分一幹線整備
- ❖ ふるさと納税拡充及び次世代産業の育成・定着の視点を持った企業版ふるさと納税の推進



自然・環境

広域化に備えごみ減量化、環境配慮と生物多様性のまちづくり

- ❖ 生物多様性調査により保全エリア支援を行います。厳島湿生公園は自然共生サイトに
- ❖ 観察会を通しての自然保護人材の育成
- ❖ ごみ広域化に向け、環境配慮に準拠したごみ分別の見直し、ごみ減量化を推進します
- ❖ 美・緑なかいフェスティバルやイベント等へのエコ化支援
- ❖ 紙オムツ炭素化、有害鳥獣減容化などを視野に、多様な資源化などを結集したゼロ・ウェイストセンターの準備

文化・観光

井ノ口公民館をもっと便利に、中央公園に多様な憩いを

- ❖ 井ノ口公民館の入り口自動ドア化や職員体制の強化、生涯学習機能及び自治会・町民活動支援、行政サービスを強化します
- ❖ インクルーシブ遊具の設置及び水辺の広場の改良で遊びやすく過ごしやすい中央公園に
- ❖ 中央公園周辺にドッグラン
- ❖ 五所八幡宮祭礼調査や郷土資料再整理を踏まえ、デジタル郷土資料館や講座を拡充します
- ❖ 里都まちカフェは「まちの駅」としての自走を目指し、支援を継続
- ❖ 観光資源を磨き、観光事業者への町長自らのPR活動を継続します

決意新たに

一緒にかかわり、願いを理解し、課題を解決することも、
不安やご意見を心底受け止め、ひるまず立ち止まることも、
あなたと、この町で、生きているから。

皆さまの声によって、わたし自身が「かわる」ことを恐れない。
「かかわる、わかる、かわる」の深淵で求められたのは、
あなたへの誠実さでした。

皆さまと認識を共にし、納得を重ねること、
小さな町だからこそできるコミュニケーションを通じて、わたしたちは
これからも確かな未来へ向かって歩むことができます。

公僕として、あなたとこの町に仕えてきた4年間。
4年間の実績と土台を力に、これからも、その姿勢を貫いてまいります。

応える町政から変わり始めたこの町が、安心して豊かな中井の未来に向け、
着実に加速させてまいります。



戸村ゆうじプロフィール

昭和43年(1968)東京生まれ、中学まで千葉で育ち東京へ(千葉大付属中、都立両国高)。平成4年(1992)国際基督教大(ICU)卒、平成6年(1994)ICU院博士前期課程修了(比較文化修士)。新聞記者、重症心身障害者施設勤務を経て海外支援NGO団体職員。平成14年(2002)中井町民に

中井町での活動

中井保育園保護者と先生の会、中井小、中井中、秦野高PTA会長、町子連、社会教育委員、自治会役員。厳島等の自然保護、読み聞かせ、交通安全、地域スポーツ、学校応援隊、わな猟免許取得等の地域活動及び町民支援活動

平成23年(2011)～中井町議会議員3期11年、正副議長、監査委員を歴任

令和4年(2022)～中井町第17代町長に就任(現在1期目)

ホームページ、SNS更新中、LINE公式ページ、Youtubeチャンネルもあります

ホームページ <https://tomurayuji.info>(戸村ゆうじのページ)、旧Twitter @tomurayuji、Instagram @tomurayuji、Facebook(友達のみ)戸村裕司、Facebookページ(全体公開)戸村ゆうじ(<https://www.facebook.com/tomurayujiinfo>) YouTubeチャンネル「とむラジオ」など

草の根で戸村ゆうじを応援しませんか

わたしたち、戸村ゆうじ後援会は、町民生活の向上と中井町の発展を願う会員が、町民を応援し、町の発展に寄与する戸村ゆうじの活動を支援することを目的としています。はがき型の入会申込書とネットフォームによる申込があります

後援会規約 <https://bit.ly/4qCnWu4> (ホームページからご覧いただけます)



後援会連絡先



HP&SNS, YT



LINE公式ページ



後援会申込